

1 学校関係者評価委員会の総評

- ・あいさつがよくできている。
- ・どの学級も児童が落ち着いて授業に取り組んでおり，グループで生き生きと活動していた。
- ・各クラスとも整理整頓がよくできていた。
- ・教師が児童の学習状況をよく見て，皆に考えを求めるなど参加型の授業が展開されている。
- ・英語の授業では，児童が楽しそうに学習に取り組んでいた。
- ・朝のランニングや縄跳び，鉄棒練習など児童が目標を持って取り組んでいることが体力向上につながっている。また，朝食の摂取率も高いことも良い傾向である。

2 分野別評価

分野	学校の取組に対する評価と今後の改善点
学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書により，落ち着いた雰囲気朝がスタートできており，それが学校全体の落ち着いた雰囲気につながっている。 ・授業の中で児童同士の学び合いが多く見られた。自分で分からなくてもフォローしてもらえるのが良い。 ・道徳の授業では，児童が自分の意見をしっかりと発表できていた。アンケート結果からも「児童が優しいことばかけ」ができていることが分かる。 ・タブレットを使った授業も行われており，児童の興味関心を高める授業づくりに取り組んでいるのが分かった。 <p>(今後の改善点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の持ち方ができていない児童が多い。早い段階で改善すること。 ・学力差に配慮しながら授業に取り組み，学力向上を図ること。 ・親子宿題では，解き方なども分かりやすく知らせてくれるとさらに良い。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会で，1年生が幼稚園児の面倒をみながら競技していたのが印象的であった。 ・米づくり（田植え，稲刈り，脱穀）はペア学年で活動し，上級生が下級生を優しく教えながら活動できていた。 ・日常的に取り組んでいる朝ランニングやなわとび練習などが，持久走大会やなわとび大会の結果につながっており，児童の意欲向上につながっている。 ・児童が先生方に相談しやすい雰囲気が感じられる。そうしたことがいじめ防止にもつながっていると感じる。 <p>(今後の改善点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会の種目やフェスタの内容など，授業時間の確保と教育効果を考慮し，さらに見直しを図ること
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・納場コミュニティ，子ども会育成会，小美玉市民の会との連携により，地域ぐるみの教育活動が展開されている。 ・児童の体験活動，登下校の見守り，学校の環境整備など，地域人材を活用しながら効果的に行われている。特に見守りをしてくれる方が増えてきているのがうれしい。 <p>(今後の改善点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理やミシン，書道，水泳など地域のボランティアの方を募集して，学校の教育活動に生かしてほしい。 ・雷雨の時の下校の仕方など，より安全な下校となるように保護者や地域とさらに連携を深めること。